



The Rotary Club 06 Hamamatsu Siyou Weekly Report 浜松志耀ロータリークラブ 週報



浜松志耀ロータリークラブ 第 87 回例会

開催日時: 2026 年 9 月 10 (木) 7:30 ~ 8:30
開催場所: オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間

■ 会長挨拶 松井会長

皆様、おはようございます。8月23日～25日熊本に行ってきました。目的は、私が木造仮設住宅の設計を担った立場で、4団地(指定用地)に行き現場が少しでも早くできる施工、改善点を見つけて被災者がいち早く入居できるための検証を行うことと、全国7か所で行う説明会に、最新情報の共有と説明を行うことです。

私たちの地域でも南海トラフ地震がいつ起こってもおかしくない状況であります。地震規模M8～9・震度7の地震が、最悪の場合、冬の明け方・満潮時では、死者数29万8千人、津波による死者数21万5千人で約70%の方が津波被害と想定しています。10m以上の大津波は関東から九州の13都県に及びます。高知県黒潮町では34.4mの津波が8分程度で黒潮町全域に被害を及ぼすと考えられています。静岡県においては10万1千人の死者数を想定しています。そのうち約70

%、7万人が津波による死者数になると言われています。また、関連死は5万2千人を予測しており直接と関連を合わせ、総数は35万人と言われています。経済被害は直接225兆円と企業被害を加えると270兆3千億円です。直接被災者と関連被災者は約6,800万人と予測されています。経済損失は国の2027年度予算一般会計、概算要求143兆円の約2倍です。

まずは、自分ができることを考え、飲料水、食料、生活に関わる用意を今からしていくことも大事かと思っています。

その流れで「災害とロータリアン」について、考えてみたいと思います。

地震や大雨、台風など、各地で大きな災害が起こっています。そうした知らせにふれるたびに、胸が痛むと同時に、「私たちに何かできることはないだろうか」と感じる方も多いのではないのでしょうか。ロータリーは、災害が起きた直後の支援だけでなく、その後の生活の立て直し、さらには長い目で見た復旧・復興まで、幅広くかかわることが可能です。各クラブがいち早く動き、必要な物資を届けたり、各地のクラブや地区が義援金や支援の輪を広げたり、そしてその先の地域の再建を支える活動へとつないでいく。そうした積み重ねが、ロータリーの災害支援の大きな力になっています。

また、ロータリーには、災害救援といった仕組みがあり、被災地で必要とされる水、食料、医薬品、衣服などの支援に役立てられています。被災した地域が自分たちに本当に必要な支援を形にしていけるように、独自のプロジェクトを立ち上げたり、信頼できる団体と協力したりできる点も、ロータリーらしい支え方だと思います。

けれども、私たちにできることは、何も大きなことばかりではないと思います。

被災された方に心を寄せること。今、何が必要かを知らうとすること。そして、できる形で、無理なく力を出し合うこと。

それとまた、立派な奉仕ではないでしょうか。

災害のときには、すぐに動くことも大切ですが、それと同じくらい、相手の立場に立って、息の長い支援を続けていくことも大切だと感じます。地域に根ざしたネットワークを持ち、人と人とのつながりを大切にしているロータリーだからこそ、できる支援があるのではないかと思います。「超我の奉仕」という言葉は、少し難しく聞こえるかもしれませんが、困っている方のために、自分にできることを持ち寄ることだと思います。時間を出す人、知恵を出す人、行動する人、支援を呼びかける人、それぞれの力が集まることで、大きな支えが生まれます。災害の場面では、そのことをあらためて実感します。

本日の例会が、私たちのクラブとして、いざという時にどんな支え方ができるのか、また平時からどんな備えと、つながりを大切にしていけるかを考えるよい機会になれば幸いです。

ロータリーには、人と人をつなぐ力があります。

そのつながりを大切にしながら、これからも地域の中で、明るく、あたたかく、そして頼りにされるクラブでありたいと思います。ありがとうございました。本日もよろしくお願いいたします。

■ 幹事報告 平野幹事

地区大会参加お願い(今日締切) 10月10日・17日土曜日イベント出席の要請 マイロータリー登録100%目標

■ 委員会報告

10月17日 街頭募金活動 大志育英委員会 小川善嗣委員長

恒例の街頭募金活動を行います。積極的なご参加よろしくお願いいたします。

10月10日 地区補助金事業 奉仕プロジェクト委員会 平出委員長、R財団委員会 小川典美委員長

清明寮にて盲導犬セミナー開催の予定。出席と協力をお願いいたします。

■ 誕生日 山田会員

おめでとうございます。親睦小委員会柳生委員長より記念品が贈呈されました。入会時は28歳、ちょっと大人に？なりました。同級生は「大谷翔平選手」です、がんばります！

■ 米山奨学生 王馨可さんへ奨学金授与

10月25日・26日新浜松駅にて個人展覧会を行います。ぜひ来てください。

■ 議事 卓話「フェアトレードとは」フェアトレード雑貨店「晴天」オーナー三室千菜美さん

担当: 奉仕プロジェクト委員会

出身地(京都)の学生時代そして就職会社にてフェアトレードに関わってきた。出産子育てを契機として、フェアトレード雑貨店開業を決意し起業し現在に至る。浜松で一番小さなフェアトレードのお店「晴天」をてがける。フェアトレード商品、エシカル商品を中心に販売。生産者を守る＝自然環境を守る。フェアトレードは三方良し。実は、浜松市も全国4番目の「フェアトレードタウン」(現在、熊本市・名古屋市・逗子市・浜松市・札幌市・いなべ市・鎌倉市・大府市が認定都市)。フェアトレード・エシカル商品が当たり前に使われる世の中にしていきたい。

■ スマイル 田中会員

松井会長・平野幹事・卓話者三室様への感謝。

衛藤会員・三室様への感謝、第5グループRC親睦ゴルフ大会への参加募集。

- 出席報告 種村会員
- 司会進行 山田会員



ゲスト2名 (フェアトレード雑貨店「晴天」三室千菜美さん、米山奨学生 王馨可さん)
出席率: 71% (会場 20名 + BAND 2 = 22名 / 31名)

国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ
例会場 / オークラクトシティホテル浜松 第2・第4木曜日 / 7:30 - 8:30 info@h-siyou-r.club

